

マルチ被覆による少加温栽培「大分果研4号」の品質向上

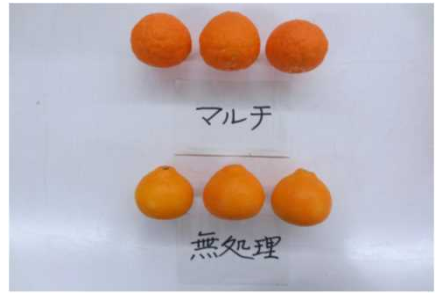
【研究のポイント】

「大分果研4号(大津八号×天草)」は年内販売可能で、省エネ施設栽培(少加温、無加温)にて生産できる大分県オリジナル品種であるが、施設栽培では露地栽培よりも果皮の赤味が薄くなる傾向がある。  
そこで、マルチ被覆による品質向上効果を3カ年検討した。

【研究の成果】



マルチ被覆の様子



果実の様子

	2015年	
	Brix	果皮色(a値)
マルチ区	13.9	26.27
無処理区	11.4	19.74
有意性*	**	**

\* 有意性はt検定による。\*\*:1%水準  
7/1 タイベック被覆(L玉中心)

	2014年	
	Brix	果皮色(a値)
マルチ区	11.4	26.68
無処理区	10.6	20.51
有意性*	**	**

\* 有意性はt検定による。\*\*:1%水準  
7/10 穴あきタイベック被覆(2L玉中心)

	2013年	
	Brix	果皮色(a値)
マルチ区	9.7	25.85
無処理区	8.4	18.36
有意性*	**	**

\* 有意性はt検定による。\*\*:1%水準  
9/2 タイベック被覆(3L玉中心)

マルチ被覆による糖度、果皮色の向上!



満開後90日～150日から収穫期までのマルチ被覆は、果実の品質向上に有効

【生産者の声】



生産者:三好氏

この技術の導入により、秀品率が高くなりました。「大分果研4号」は年末贈答用みかんとして非常に人気がありますので、一層の拡大を目指します。

【連絡先】

担当: 農林水産研究指導センター 農業研究部 果樹グループ 温州ミカンチーム  
TEL : 0978-72-0407  
住所: 国東市国東町小原4402